

令和 7 年 8 月 2 8 日

令和 7 年 9 月定例議会 記者発表 あいさつ

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。  
議案の説明に入る前に、私の方から近況をお話をさせていただきます。

まず、瀬戸内国際芸術祭 2025 についてです。

夏会期は今週末の 31 日までであり、残すところあと 3 日となりました。

今年も猛暑が続き、屋外アートの鑑賞には、過酷な状況となりましたが、宇野港会場では日傘の貸し出しやミストファン、クーリングスポットの設置などの熱中症対策を講じています。

大きな事故もなく、今日に至っていると聞いています。

宇野港会場の有料作品は夜 7 時まで鑑賞ができるほか、夏会期は、塩と芸術をテーマにしたイベントや、市民向けに芸術祭の作品のパネル展示やワークショップも開催されました。

また、作品設置場所の一つとなっているパワーエックスでは、工場見学ツアーが開催されました。多くの方が来場され、アンケート結果でも満足度が高いと聞いていて、産業観光に向けた手ごたえもつかんでおります。

瀬戸芸の秋会期は 10 月 3 日から始まります。9 月末には市内の中学校に瀬戸芸アーティストが訪問し、パフォーマンスを行う予定です。また、作品においては、「命の塩」のリニューアルが予定され、新たな仕掛けがなされます。秋会期も多くの方に楽しんでもいただきたいと思います。

次に、大阪・関西万博での玉野市 PR ブースの出展についてです。

岡山県が出展しました展示企画「桃太郎の夏休み」が、8 月 22 日から 24 日に開催されました。その一角において、本市も、23 日に出演しまして、私も出向き、担当部署とともに海とアートのある町・玉野市を PR しました。

玉野市特産品の試食や販売のほか、瀬戸内国際芸術祭のアートを手がけた作家によるワークショップや、渋川マリン水族館による海の生き物に触れるタッチングプールなどを出展しました。万博全体の来場者が多かったこともあり、観光パンフレットもすぐになくなるなど、非常に好評でした。

本市では、瀬戸芸秋会期が控えていることに加え、11 月 15 日、16 日には宇野港では初となる野外音楽フェス「Setouchi Contemporary」も開

催されることから、若い世代に向けてアピールできる絶好のチャンスとなります。今後、SNS による広告配信を展開するなど、効果的な情報発信を行っていきたいと考えております。

提出議案については、令和 6 年度の決算のほか、財政調整基金への積み立てなどの補正予算と、財産の取得や育児休業などの法改正に伴う職員の勤務時間等に関する条例改正などがあり、後ほど担当から説明します。

令和 6 年度決算については良好な状況であり、健全化判断比率も問題ない水準となっております。ただし、大型事業の起債償還などが控えていることから、市民が希望を持てるような新規事業とのバランスを図りながら、健全な財政運営に努めてまいります。

私からは以上です。